

経営比較分析表（令和5年度決算）

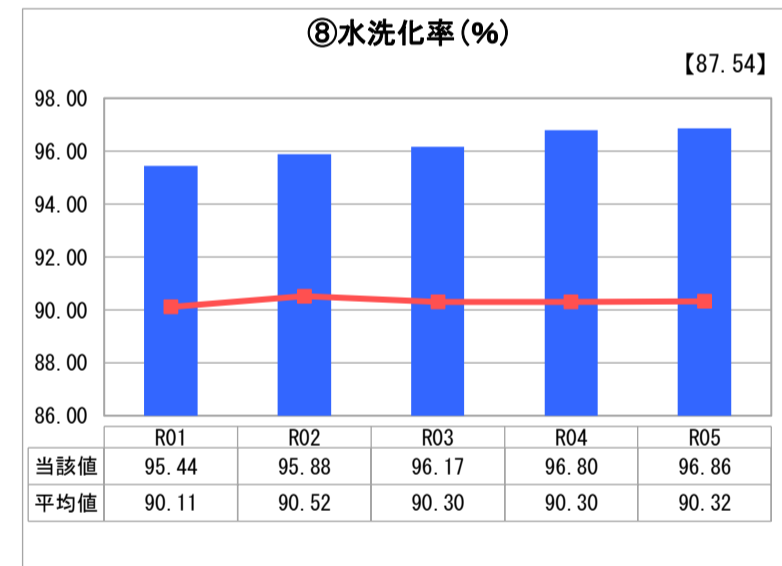
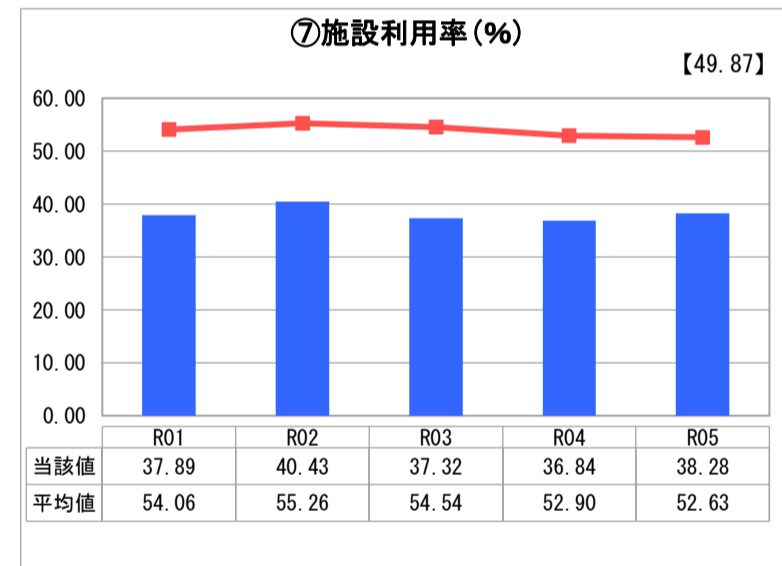
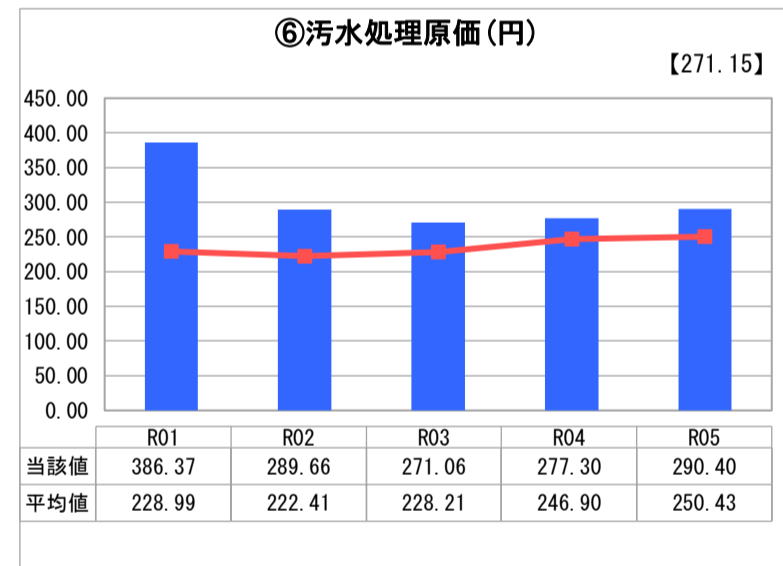
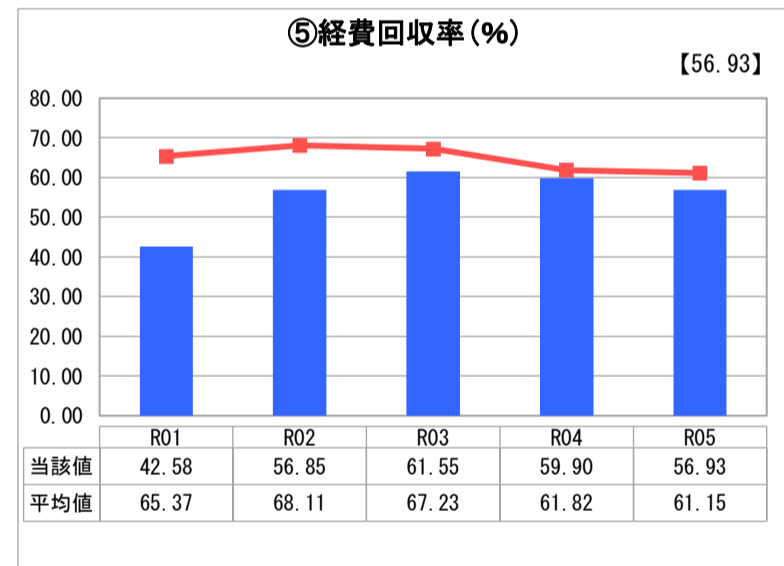
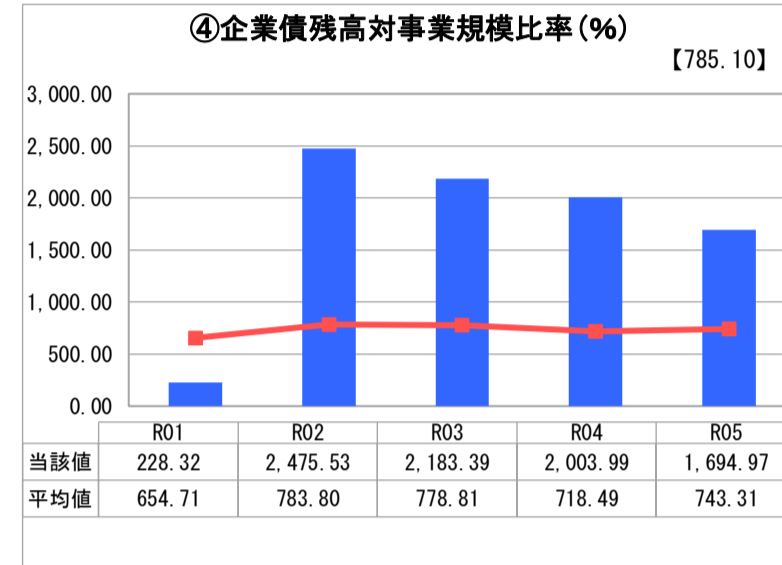
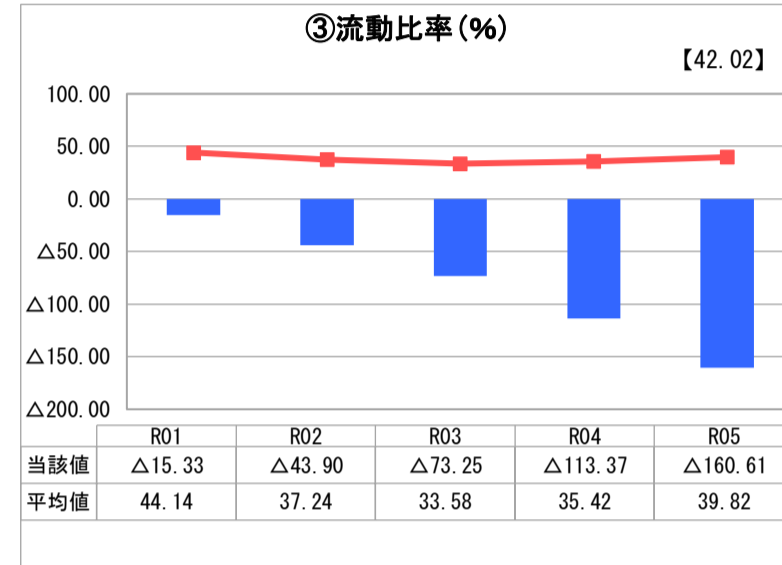
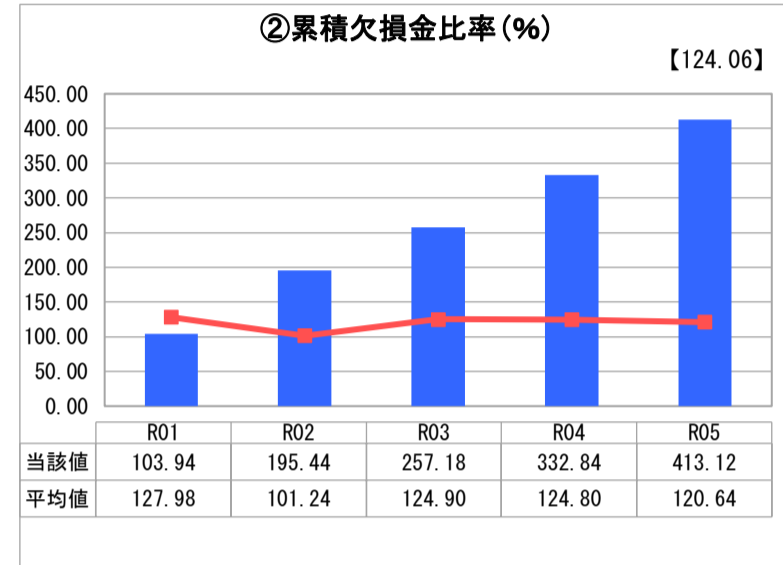
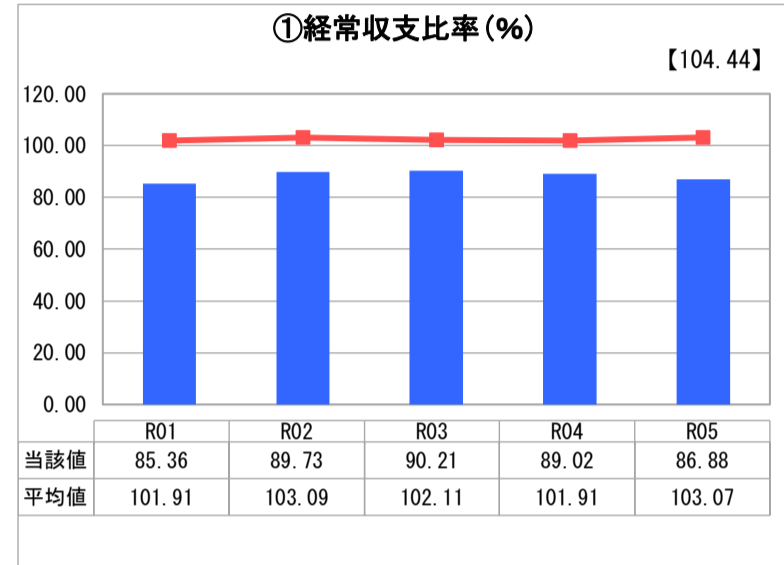
岡山県 倉敷市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	73.10	0.17	120.65	2,820

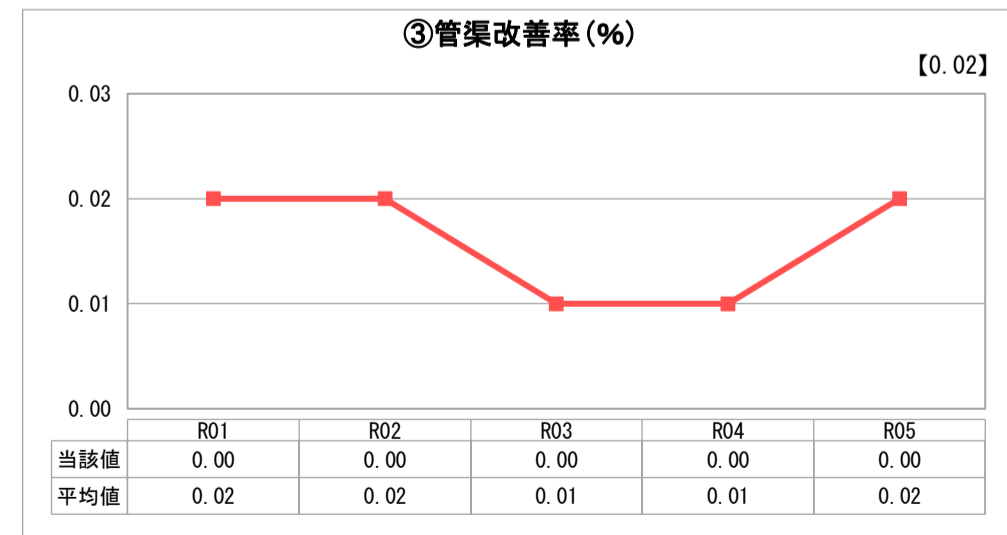
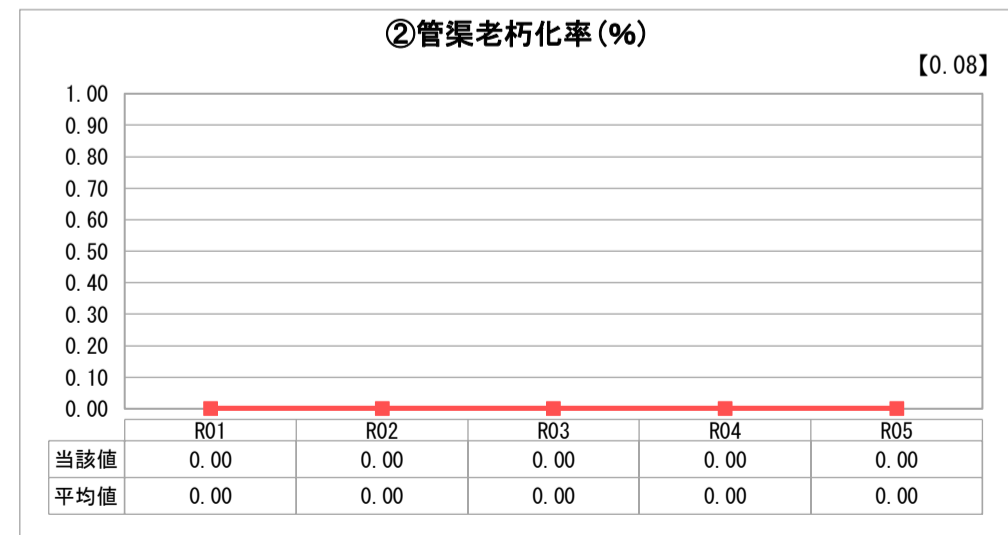
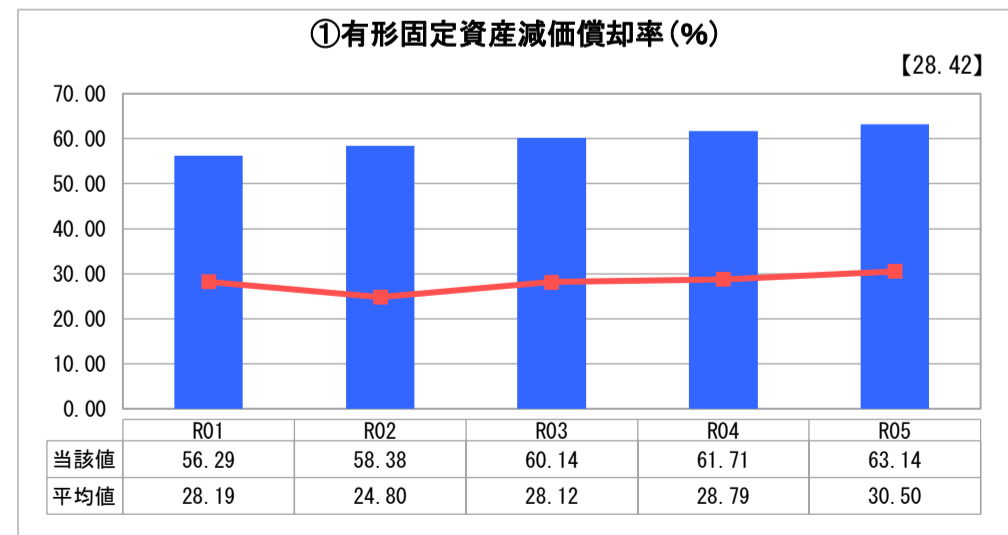
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
475,914	356.07	1,336.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
827	0.20	4,135.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を下回っています。収益が使用料収入のみであり、維持管理費、企業債償還金を賄いきれないため、一般会計からの繰入金に依存している状況です。② 累積欠損金比率は類似団体の平均値を大きく上回っています。③ 流動比率はマイナスとなっています。④ 企業債残高対事業規模比率は類似団体の平均値を大きく上回っています。⑤ 汚水処理原価は類似団体の平均値を上回っています。⑥ 施設利用率は類似団体の平均値を大きく下回っていますが、処理区域内人口が減少傾向にあることから、今後はさらに低下が見込まれます。⑦ 水洗化率は類似団体の平均値をわずかに上回っています。

2. 老朽化の状況について

本事業は昭和61年に事業着手しましたが、処理施設も含めた資産全体の老朽化の状況を示す①有形固定資産減価償却率は類似団体平均と比較して高い数値になっています。これは、法定耐用年数に近い資産が多いことを示しています。

全体総括

本事業では、平成25年度に公共下水道への接続可否や施設の老朽化を検証した農業集落排水最適整備構想を策定しました。このことを受けて、今後、公共下水道への接続が可能な地区から順次実施していくこととしています。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。